

月性生誕200年 & 明治維新150年記念の、

あの連続講演会が本になりました！

僧月性顕彰会主催、柳井市・柳井市教育委員会の共催で、2017年4月から1月に全7回にわたって開催された連続講演会「いま、蘇る幕末維新」が、このたび単行本化されました。

月性の顕彰活動に起点を置きながらも、幕末維新时期に起こったことのリアルな全体的理解を目ざす、一般向けの書物です。ご購入、ご熟読をお願い申し上げます。

上田純子・僧月性顕彰会 編／吉川弘文館 発行

幕末維新のリアル

―変革の時代を読み解く7章

7月25日刊 並製カバー装 288頁 定価2200円(税別)

内容

はじめに	上田純子
第1章 幕末維新の、ここが面白い	三谷 博
第2章 積極開国論か、攘夷論か	奈良勝司
第3章 「攘夷」とは何か	青山忠正
第4章 洋上はるか彼方のニッポンへ	後藤敦史
第5章 「尊王」とは何か	前田 勉
第6章 漢詩のなかの月性	愛甲弘志
第7章 僧月性の交友と交際	上田純子

*幕末維新への、それぞれに独自のアプローチを展開する第一線の研究者が、今もつとも注目されているテーマを掲げて熱論を展開。

*幕末維新に何が起こったのか――多角的な視野と鋭い洞察でリアルに解き明かす最新・最適・最良の明治維新入門。 図版53点収録。

*中国の文人伝統に根ざすキーワード “清狂” を掲げて、当時有数の儒学知識人・漢詩人との交友関係を築き上げ、身分や領国の壁を超えて “公論” のなかで幕末維新の政治と関わった月性、その詩魂、思想、行動、人となりの核心にあるものが、初めて明らかにになりました。